自治会活動支援に奨励賞

あしたのまち活動賞 柏市地域協働を考える会

オンライン回覧板の導入などについて話し合う
沓沢会長（中央）らメンバー（柏市役所で）

住みやすい地域社会作りに独自の発想で取り組む団体などを表彰する「あしたのまち・くらしづくり活動賞」（あしたの日本を創る協会、読売新聞東京本社など主催）で、柏市の市民団体「柏市地域協働を考える会」が振興奨励賞を受賞した。市と連携して自治会の活動を支援し、ICT（情報通信技術）活用の促進などにも取り組んでいる。

総務省によると、全国には約30万の町内会があるが、加入率は各地で低迷している。柏市でも町会や自治会の加入率は4月時点で約64％と、ピークの2010年から10％以上低下。役員の担い手も不足している。

同会は15年、市民講座「かしわ市民大学」で地域づくりを一緒に学んだメンバーらが「地域に恩返しを」と結成。町会や自治会の役員らの相談に応じるため、従来の対面窓口に加え、今年、オンラインでの対応を始めた。

6月には、市と協力して「町会等運営ガイドブック」を作成。地域の自主防災の取り組みなどを取材し、紹介した。無料通信アプリ「LINE」を活用したオンライン回覧板の導入も呼びかけており、今月末にはICT活用のオンライン勉強会を計画している。

沓沢勇夫会長(79)は「新型コロナの感染拡大で人々が孤立しやすい時だからこそ、つながりが大切。若い世代に加わってもらえる町会のあり方を考え、発信していく」と意気込んでいる。

学生科学賞 受賞者喜び

高校の部 県表彰 県知事賞の森高さんら

第64回日本学生科学賞の県表彰式が19日、千葉市美浜区の県総合教育センターで行われ、高校の部門の受賞者に賞状と記念品が贈られた。

表彰式には最高賞の県知事賞を受賞した県立東葛飾高2年の森高楓さんらが出席した。

ペットボトルロケット愛好会のメンバーが研究を始めたのは中学1年生の時。ペットボトルロケットの飛距離、バランスロケットの飛距離

中学3年生の時に優良賞を受賞。その後もオーストラリアのエンジニアがホームページで公開している設計方法などを参考にしながら、研究を続けた。

表彰式に出席したメンバーは「さらに内容がハイレベル

千葉市教育長賞に輝いたのは、県立生浜高3年のチームピヨちゃん。殻無し孵化の研究は7年目を迎え、今回は理科の特別授業の受講者と生物部計15人で臨んだ。メンバーは「受験の準備や中間テストの日程と重なり、限られた時間の中で頑張った」と受賞を喜んだ。

県高校教育研究会理科部会長賞を受賞した県立市東高2年の岡本雅隆さんのテーマは、新型コロナウ

市民の健康増進 大塚製薬と協定

君津市

君津市は、地域活性化や市民サービスの向上を図ろうと、大塚製薬と包括連携協定を結んだ＝写真＝。

協定では、市民の健康づくりや食育の推進、スポーツ振興、災害時の市民への支援などに関して連携する

全国学力テスト 無料で

市進学院が31日 小4から中2対象

首都圏で学習塾を展開する「市進学院」（本社・市川市）は31日、学力テスト「全国 学びの比較テスト」を無料で実施する。

市進によると、新型コロナウイルスの感染拡大で一斉休校が長引き、学校再開後も学習カリキュラムが絞り込まれたり、授業のペースが速まったりと、学習内容が身についているか不安に思う保護者や子供が多いという。学力を正確に把握したいとの声に応えるため、全国規模のテストを行うこと